

高い実績を上げる 多摩信用金庫「創業支援 センターTAMA」の取組み



多 摩信用金庫は、東京都の「インキュベーション事業」の採択を受けて、2013年11月1日に「創業支援センターTAMA」をオープンさせた。

「インキュベーションHUBプロジェクト推進事業」とは、採択された創業支援機関が中心となって他の支援事業者と連携し、地域の創業希望者の発掘・育成を行って

いく事業であり、多摩信用金庫は多摩地域の創業支援の中心的役割を担うこととなったわけである。こうした採択の経緯や、インキュベーションHUB推進プロジェクトの詳細は、本誌2013年12月1日号にてレポートしている。今回は、オープンから約1年が経過した「創業支援センターTAMA」が現在特に注力している取組みと、支援成果等についてレポートしていきたい。

東京都の西部に位置する多摩地域は、東京都の23区部と島嶼部を除いた市町村部からなり、東京都民人口の約3分の1となる約419万人が居住している。付加価値の高い技術力を持つモノづくり企業が多く集積している一方で、中小の小売業者も多く、また豊かな

自然を活かした農業も盛んに行われており、まさに「住むにも働くにも良い地域」といえる。だが、近年の事業所数の減少傾向は他の地域と変わりがない状況にある。事業所数が減少すると人口減少にもつながり、地域の活力が失われてしまうことは想像に難くない。

そこで、多摩地域を営業エリアとする多摩信用金庫では、10年ほど前から創業支援に力を入れた活動を行ってきた。2013年には東京都の「インキュベーションHUB推進プロジェクト事業」に採択され、「創業支援センターTAMA」をオープン。地域における創業支援活動をさらに強化することとなったのである。

この「創業支援センターTAMA」とは、物理的な場所を指すものではない。地域の様々な創業支援機関と連携しながら、創業希望者の発掘・育成から成長促進までのサポートを行う「インキュベーションHUB事業」の中心的な役割を担う、多摩信用金庫が運営する創業支援のプラットフォームのこ

敷居を低くしたPR活動で 多くの創業希望者を発掘・育成

とである。

主な事業内容としては、大きく分けて①地域の創業支援機関とのネットワークの構築、②インキュベーションマネージャーによる個別相談、③各支援機関が創業塾やセミナーを開催する際の予算拠出

など。こつとした活動により、創業希望者を発掘し、ビジネスモデルの構築、補助金等の申請、資金対応、創業後のアフターフォローまで、創業に関する一連の流れをすべて担っているのである。

多種多様な機関と ネットワークを形成

現在、創業支援センターTAMAでは、「HUB(中核)」としての役割を遺憾なく発揮し、地域内

にある39の創業支援機関と連携の覚書を結んでいる。連携する創業支援機関は、民間企業やNPO法人、任意団体、保証協会など実に幅広い。多種多様な機関とネットワークを形成していることが大きな特徴だ。

一例を挙げると、小金井市の株式会社タウンキッチンが、「食」を通じて地域コミュニティづくりに取り組んでいる企業。シェアキッチンを運営しており、飲食店を

開業したい人に場所を提供し、経験を積むことができる場となっている。また、八王子市の株式会社FIO(フィオ)は農産物を生産・販売する農業法人だが、一方で、農業を始めたいという人を応援するために農業体験研修やイン

ターンの受入れを行っている。

そのほか、レンタルオフィスやレンタル教室などといった開業のための場所や知恵を提供する企業や、税理士法人など、様々な分野の支援機関と提携している。

「多摩信用金庫は元々、市役所や商工会議所、NPO法人など、地域のための活動をしている機関と連携しながら創業支援に取り組んできました。東京都のインキュベーションHUB推進プロジェクト事業に採択されたことで、さらに多くの機関との連携を図り、地域の創業支援ネットワークとして見える化を実施。より本格的に創業支援に取り組んでいます。最近では、創業支援のネットワークが拡大したことで、地域内で創業支援に関係するような企業が新しくできたりすると、自然と情報が寄せられるようになりました。そうした先に連携を呼びかけ、参加していただくことも多くなっています」(森田憲輝・インキュベーションマネージャー)

もちろん、それぞれの連携機関は起業セミナーや創業塾を各自で

企画・立案し開催している。創業支援センターTAMAでは、そうしたセミナー等の企画を採択し予算付けを行う。そして情報を取りまとめパンフレットを作成、多摩信用金庫の営業店に置いたり、自治体の広報誌に掲載を依頼したりして宣伝活動を行っていく。

2013年度には計30本が採択され、延べ518名の創業希望者が参加。14年には計31本が採択されて、11月末完了分までで175名が参加している。1本につき複数回開催されるため、多摩信用金庫独自のイベントと合わせると、ほぼ毎日、地域内のどこかで創業支援センターTAMAが開かれるという状況になっているという。

また、創業支援センターTAMAでは、こうした支援機関と単に一对一の連携をしているだけではなく、支援機関が一同に集まるミーティングを開催することで、支援機関同士が横のつながりを持つようにしているのである。

ミーティングでは、それぞれの活動の報告や、「セミナーへの集



▶森田憲輝・インキュベーションマネージャー



▶都司玲菜・インキュベーションマネージャー